

議 事 録

会 議 名	第 3 回 杉並区児童館等のあり方検討会	
日 時	平成 1 8 年 3 月 2 0 日(月) 1 9 時 0 5 分 ~ 2 1 時 1 0 分	
場 所	杉並区役所 第 5 会議室	
出席者	委 員	増山会長、菅原副会長、川村委員、能登山委員、野田委員、花井委員、中井委員、仁比委員、伊藤委員、田中委員、重藤委員
	事務局	[教育委員会事務局] 和田庶務課長、吉田学校適正配置担当課長 [児童館] 小林武彦荻窪北児童館主査、岡崎成田西児童館主査、大浦堀ノ内東児童館主事、島田下井草児童館主事、畠山高井戸児童館主事 [児童課] 武井児童課施設計画担当係長 [児童青少年センター] 白垣児童青少年センター所長、小林康夫計画調整担当係長、横関運営指導係主査、土田管理係主事
傍聴者	2 名	
配付資料	事 前	1 会議次第 2 児童館等のあり方検討会委員名簿(訂正版)(資料 2) 3 子どもに関わる区内 N P O 団体(資料 9) 4 すぎなみ子ども・子育てメッセプログラム(資料 10) 5 区内母親クラブの活動状況について(平成 16 年度)(資料 11) 6 地域子ども教室推進事業について(資料 12) 7 土曜日学校について(資料 13) 8 ユースプロジェクトすぎなみ にゅーす第 1 号(資料 14) 9 ユースプロジェクトすぎなみ プレゼンテーション資料(資料 15) 10 児童館についてのアンケート(乳幼児保護者向け)集計結果(資料 16) 11 その他の資料 (1) 第 1 回検討会議事録 (2) 他区の児童館・学童クラブ以外の放課後の小学校を活用した主な居場所事業(児童館・学童クラブに関する資料 P 3 9)
	当 日	1 すぎなみ教育報 臨時号(平成 16 年 8 月 4 日発行) 2 すぎなみ教育報 臨時号(平成 18 年 3 月 10 日発行)
会議次第	1 開会挨拶 2 第 1 回議事録について 3 第 2 回視察について 4 傍聴について 5 作業部会員の紹介 6 配布資料の説明 7 質疑 8 学校適正配置について 9 ニーズに応じた特色ある児童館づくりについて 10 その他	

発 言 者	発 言 内 容
1 開会	
会 長	《開会挨拶》
2 第1回議事録について	
会 長	既に御覧いただいているかもしれませんが、第1回議事録の資料をお手元にお願 いします。 出席者、配布資料はもちろんのこと、その後にかなり詳しく議事の進行、発言の 内容も含めて書かれています。恐らく公開される議事録も会議の様子がよくわかる のではないかと思います。どこが訂正しなければならない事項がありましたらご指 摘いただきたい。これについてはよろしいですか。
	《異議なし》
会 長	では、第1回目の議事録を確定いたします。
3 第2回視察について	
会 長	第1回から今回までの間に、第2回として3月7日と8日の二日間にわたって、 5箇所の児童館・学童クラブを視察していただきました。菅原委員は本日行かれた ようです。全員が視察をしていますので、これから議論していく共通の認識を持た れたのではないかと思います。
4 傍聴について	
会 長	本日は委員の方とともに、傍聴の方も何名かおられます。傍聴も可ということで検 討会を進めていますので、この会議の内容もいろいろな方に知っていただければと 思います。
5 作業部会員の紹介	
児童青少年 センター所長	児童館等のあり方検討会作業部会のうち、教育委員会事務局の管理職を紹介させ ていただきます。
庶務課長	《挨拶》
学校適正配 置担当課長	《挨拶》
6 配布資料の説明	
会 長	今日から本格的な検討に入っていきますが、事前に資料が配られていますので、 事務局から説明をお願いします。 資料2「児童館等のあり方検討会委員名簿（訂正版）」ですが、中井委員の備 考欄が訂正になっています。その他は変更なしでよろしいですか。
児童青少年 センター所長	仁比委員の備考欄が訂正になっています。
会 長	それでは他の資料について、事務局から説明をお願いします
児童青少年 センター所長	資料の説明に入る前に、事前にお送りした資料が届かなかった方、また、持参し てくるのを忘れてしまった方はいらっしゃいますか。
	《委員3名から挙手》
児童青少年 センター所長	予備の資料をお渡しします。
会 長	資料の内容が多くて、持参するのが大変です。そのうちどこかで置かせてもら うと助かるのですが、後で相談に乗ってください。
児童青少年 センター所長	先ほど、会長からご説明いただきましたように、資料2「児童館等のあり方検討 会委員名簿（訂正版）」については、誤りがございましたので訂正させていただきます

	<p>した。それから、既にお送りした資料の中で、資料16「児童館についてのアンケート（乳幼児保護者向け）集計結果」につきましては、本日席上にカラー印刷したものをあらためてお配りしてございます。カラーの方が見やすいということで差し替えさせていただきたいと思っております。また、一部数値にデータ処理上の誤りがございまして、ここについては数値を正しいものに改めさせていただきました。</p> <p>それから、もう一つ差替えの資料がございまして。その他の資料の「他区の児童館・学童クラブ以外の放課後の小学校を活用した主な居場所事業」の内容に追加・修正がありましたので、これについても差替えをお願いいたします。この資料は、既に第1回でお配りさせていただいていた「児童館・学童クラブに関する資料（資料編）」の最終頁に追加させていただきたいと思っております。</p> <p>それでは順を追って説明させていただきます。</p>
児童青少年センター所長	《資料9、10、11、12について説明》
委員	質問はそのつど申し上げてよろしいですか。
会長	ひとつおとり説明を受けて、後で質問の時間を持つことにします。
児童青少年センター所長	《資料13、14、15、16、について説明》
児童青少年センター所長	《その他の資料 他区の児童館・学童クラブ以外の放課後の居場所事業の主な実施状況について説明》
7 質疑	
会長	今までのところで資料についてのご質問があればお願いします。
委員	資料12の別紙2「子どもの居場所づくり」の年間開催数について、平日の開催状況からはあまり読み取れません。例えば何月に始まったので、この年間開催日数ですというのがあるものがありますか。
児童青少年センター所長	この事業自体、実行委員形式をとっており、区が直接かわりを持っていないので、詳細はわからない部分がありますが、例えば、委員がおっしゃっているのは4番目の「ひだまりルーム」の平日の開催状況が3日間、つまり週3日開催しているのに、年間開催日が8日では計算があわないではないかということだと思いますが、少ない回数の団体は、ほとんど年度末3月ぐらいに始めたかと聞いております。あとは学校の長期休業期間中、夏休みとか春休みには開催していないようです。1番目の「すぎっ子クラブ」につきましては、年度当初から開催しているようです。
委員	わかりました。
8 学校適正配置について	
会長	学校適正配置の状況について説明をお願いします
学校適正配置担当課長	《すぎなみ教育報 臨時号（平成16年8月4日、平成18年3月10日）に基づき説明》
会長	<p>児童館問題あるいは学童クラブ問題を考えていくうえで、学校適正配置との関わりが非常に大きくなってきますので、今日のご説明を受けたということです。ここまでが資料の説明となります。</p> <p>ここまでで、第1回目の基本的な資料と第2回の視察を経て、今日の追加分をあわせて資料が揃いました。ここから先は、いくつかの論点を決めて議論してきます。そこで、第一回目を踏まえ、もろもろの課題を少し再整理する必要がある気がします。</p> <p>お手元に、第1回目に配られた資料7「児童館・学童クラブを取り巻く現状とあるべき姿」がありますでしょうか。恐らくこの資料7が今回の追加資料も含めて、これから検討していく諸問題が網羅的にまとめられています。</p> <p>事務局の方で再確認は必要ですか。</p>

事務局	《特になし》
9 議題	
会長	<p>そうしますとニーズに応じた特色ある児童館づくりというのが、一つの大きな課題になっているわけですね。この資料7によりますと、対象が小学生・乳幼児・中高生・障害児・家庭地域というように分かれています。それぞれが関連していますが、切り口としては、この対象ごとに少し議論しながら、他との関連も探るということではないでしょうか。それよりも、一度全体的に課題整理の議論をする必要がありませんでしょうか。</p> <p>なかなか最初から全部というわけにはいかないもので、どこからかやりながら整理する以外にないと思います。今日は、たまたま資料として「児童館についてのアンケート（乳幼児保護者向け）集計結果」が出ていますから、年齢の低い順から順番にいくというのも一つの方法かと思います。乳幼児から議論を進めた方がやりやすいと思いますがいかがですか。よろしいですか。</p>
	《異議なし》
会長	<p>それでは、今日の残りの時間の中心的な意見交換のテーマは、乳幼児親子、乳幼児対象の児童館の課題・役割というようなことに絞って議論していきたいと思いません。</p> <p>既に視察でゆうキッズ事業の利用の多い阿佐谷南児童館、それと宮前、荻窪北など見ていただいていますので、どういう課題・問題点があるか、その辺を自由に出していただきながら課題を整理していきたいと思いません。いかがでしょうか。どなたかご意見ありませんでしょうか。視察を踏まえたご意見から入った方が良いかもしれません。</p>
委員	<p>私は阿佐谷南児童館を時間の都合で視察できませんでしたが、それぞれの児童館で主査や館長に何か一つ願いがかなうなら何をお願いしますかという漠然とした質問を投げかけました。荻窪北児童館の方が、あれだけいろいろな意見を出しあって立派な児童館を建てたけれど、あっちを立てたらこっちが立たずみたいなのところも多々あって、乳幼児専門館としての充実というように言われていました。視察の場であれこれディスカッションをしたときに、乳幼児のことをいろいろ質問したからそのように感じたのかどうなのかわかりませんが。</p> <p>宮前児童館を視察したときに、児童館の乳幼児保護者の午後の利用について聞いたときは、お母さんも怖がってこないというようなことを言われていて、確かに80名前後の学童数の中で、あの狭いスペースで、かくれんぼしたり「わさわさ」したりする状況の中では、お母さんたちがちょっと一息絵本を読みたくても、ちょっと無理だという感じがしました。このようなことから乳幼児の専門の施設があるべきだと思いますし、アンケート集計結果を家で読んできたのですが、乳幼児専門の施設が欲しいというご意見がありました。私が良く利用する児童館は高井戸西児童館ですけれども、乳幼児室と小学生のスペースが分かれていますので、宮前児童館と比べて乳幼児は利用しやすいと思います。</p> <p>宮前では「ここにはスペースがないのでごめんなさいね」という感じで利用を断っているようなことを言っていたので、私が利用者だとしたら「せっかく児童館があるのに利用できないの。ちょっと違う刺激をもらえないの」と思うと思います。</p> <p>武蔵野の「0123」の施設はテレビで拝見したことしかありませんが、素敵な施設だと思いましたので、そういうところを参考に乳幼児専用の施設があると、初めて母になる保護者にとっても、母というのは子どもと一緒に少しずつ成長していくので良いと思います。</p>
委員	<p>私は、武蔵野の「0123」は、子どもが小さい頃に行ったことがあります。武蔵野市にお住まいの方と話をしたときには、あんなに立派な建物が少ない数あるよりも、杉並区の児童館のように、小さいけれどたくさんあってちょっと気軽に行けるところがあるのは、すごくうらやましいと皆さん口を揃えて言っていました。対極をなす本当に素晴らしい施設で、居たら楽しい時間を過せる施設ではありますが、</p>

	<p>やはり、「じゃあ今日よし行こう」と足を向けないと行かれないというのは、どうかと思います。公園にちょっと足を運ぶように、他のお母さんと他の子どもたちとふれあうようなものが、児童館本来の役目ではないかと思います。</p> <p>どこにでも立派な施設がたくさんあればよいのでしょうか、1館2館あってもどうなのかなと思います。安心して子どもを遊ばせることができ、気軽に行かれるということになると、広いスペースが必要だと思います。私の子どもが小さい頃は、午前中は主に児童館で遊び、午後は公園に遊びに行くというようにしていました。時間的な住み分けをお互いにしていけないと、なかなか一緒に利用するのは難しいと思います。乳幼児は乳幼児でまとめてしまおうというのはどうかという気がしました。異年齢の交流というのもお母さんたちは同時にすごく求めているわけですから、それを切り離してしまっはいけないという気がします。</p>
委員	<p>お母さんたちの悩みを聞いていると、子育ての環境や今の状況をどうしたらよいか、即座に聞けるようなところが欲しい、相談相手が欲しいというのが、私が聞いたところでは多かったです。そういった意味で地域の身近にある児童館があるというのは良いことだと思います。乳幼児専用館は全体的なことを考えて、スペースや予算があれば、あるに越したことはないと思います。</p> <p>私は視察をして一番驚いたことは、施設が全体的に古くなって汚く狭いということです。その中で、先生方はあれほど一生懸命に子どもたちのためにやっているというのは、頭が下がる思いでした。私たちから見ると荻窪北児童館の施設がすごく素晴らしいと感じましたが、今は子ども達自身の生活環境の中でああいうところにいる時間がほとんどという状況の家が多いのではないかという気がします。あまりにも、一定の時間居なければならないところが缶詰状態、それでさらに人数が増えるということを見ると、根本的にこのあり方検討会でそこから議論していかないとどうにもならないと思います。</p>
委員	<p>乳幼児保護者向けアンケートの中から見受けられますが、実際に利用している方が出している1から8までの児童館を利用している理由というのがあります。それから希望として児童館が力を入れていくべきことを聞いています。面白いのは、児童館が力を入れていくべきところは何かというところで、定期的な子育て相談や子育て情報の提供を強く求めているにもかかわらず、児童館を利用している方の意見では、これができているというのが一つもない。つまりできていないということです。ですから箱物をつくるよりも、例えば専門知識なり情報を提供する組織や役割をきちんと作って、その方が常勤でなくても良いのですが、例えば、定期的に児童館に来てくれるのがわかれば、利用者は集まると思います。</p> <p>箱物を散りばめるとというのはナンセンスで財政のこともありますし無理だと思います。箱物だけ造ってそこに集まっていれば良いという考え方は子育ての中では間違っていると思います。確かに核となる施設の充実は大切だと思いますが、それよりも、今の児童館をどう良くしていくのか、学童クラブという年齢の高い子どもたちに対してのケアとか、それに対して母親の対応などバランスをとって、時間を区切るなら区切ることで対応できると思います。</p>
委員	<p>アンケートの自由意見の中で、職員に関する事の上から二番目「児童館の利用時、先生も常時一人くらいは遊戯室にいてくださるとありがたいです」とあります。遊んでいただかなくても先生がいてくださると良いと思っています。親は我が子の安全を見守っているの、ちょっとした雑談の中から、お悩み相談ではないですけども相談にのってもらえると良いと、前々から自分が利用しているときから思っていました。</p> <p>先生が長時間居ることによって、親子で入っていった時に、利用が一組では居づらいかもかもしれませんが、それでも先生と会話することによって、お母さんも児童館に何かを求めてきているでしょうから。</p>
委員	<p>児童館の中にいると、わからないこととかがあって、皆さんが視察されたときに率直にどう思ったかというのをぜひ聞きたいと思います。</p>
委員	<p>ギュウギュウでしたね。</p>

会 長	<p>児童館の中に学童クラブがあるところとして、阿佐谷南・宮前・荻窪北の各児童館がありましたけど、全体として子どもの居場所としては窮屈でしたね。雨の日などは大変な状況になるだろうという状態ですね。</p>
委 員	<p>ですから、どちらかという乳幼児の居場所というよりは、小学生の居場所というのがもう目一杯という感じの児童館が多かったですね。例えば、乳幼児親子の方が午前中に児童館で知り合って、そこから次の場所に移動するとか、お約束するとかという形で、若いお母さんたちが使っている。そういったところで定期的に相談などをやっていただけると、リフレッシュになると思います。</p> <p>私たちみたいなお年寄りが参加して、「実はこういうことをちょっと心配しています」などと相談をうけたきに、「それくらいの事でしたらね」という感じで答えてあげれば、かなり気が楽になるのではないのでしょうか。</p> <p>乳幼児親子はきっかけ作りとして、児童館にいられると良いと思います。</p>
委 員	<p>視察ですごく感じたことは、「児童館は何のためにあるのか」ということです。例えば、狭い小さい児童館でも工夫していろいろなことをやっている。それぞれの運営は児童館に恐らく委ねられていると思います。傾向として全体的に「児童館は託児所なのか」と思いました。「区がお金を払ってくれるタダ同然の託児所なのか」と。利用者も好き勝手なことをやっています。「うちの子は何時何分のバスに乗ってプールに行かせたいから、何時に帰宅させなければ困る」などと。児童館もその管理に必死になっていて、一生懸命説得してうまくいっているところもあるようですが、本当にその要望を区民の要望として聞かなければいけない。5分刻みですよ。あんなナンセンスなことはないと思いました。</p> <p>児童を預かった以上、どこまでが預かりの時間でどこから先が保護者に返して行くのかというメリハリのつけ方、児童館ごとの責任の取り方に悩んでいるようでした。私の思っている児童館というのは、異年齢の子どもたちやいろいろな子どもたちに普段家庭や学校では学べない、いろいろな素材を提供して、そこでふれあって子どもを育みましょうというものです。そういうところが、例えば乳幼児親子のアンケートにも出ていますけれども、そういうものを提供していくのが、若しくはそういう素材があるのが児童館だと思います。そこに、無理やりいくつもの機能を詰め込んで、乳幼児に対して何しましょうといても始まらないですね。</p>
会 長	<p>今のご意見は、児童館の中にある学童クラブの側面ですね。学童クラブの保護者たちがすごく細かく帰りの時間についても要望を出しているわけですね。児童館利用は、自由に来て遊んで帰るだけだから保護者はあまり関知していないですね。いずれにしても学童クラブの保護者が非常に細かく要望を出しているわけですね。児童館の中に学童クラブがあって、その学童クラブが膨らむと一般の子どもが来ることができない構図になっている。そういう問題もあるし、当然、乳幼児親子も来にくくなるわけですね。だから児童館があればこれもやっているということに一つ問題があるのではないのでしょうか。ただ、やっていることに対しては職員の方々が非常に一生懸命やっていて、実に頭が下がる思いです。狭い古い施設をうまく使い分けているわけですよ。</p>
委 員	<p>本来、議論としては乳幼児親子の話をすべきところに、この問題をあえて取り上げたのは、職員がそこに全部とられているという側面を感じたからです。</p>
委 員	<p>この間視察した児童館とは違いますが、自宅の近くの児童館では学童クラブを希望する子どもが新年度増えてきています。そうしたときに、今のスペースでは手狭になるし、どうするかということに相当悩んでいる。地域的に学童クラブ希望者が増えてくるのかいろいろなバランスがあると思いますが、そういうことも含めて乳幼児と小学生を対象に方針をはっきりした方が良いのではないのでしょうか。学童クラブを児童館の中でできなければできないで他の場所を考えるなど、もう少しはっきりしないと、結局職員も大変な思いをするわけですよ、もし事故でもおきたら困りますし。乳幼児と学童クラブ小学生では時間的にずれがありますけれど。その時間に小学校低学年、中学生、そして学童が一緒になって、それが問題なのかと思います。視察した中でもかなりギュウギュウでしたし、学童クラブをどこへもって</p>

	くのかというのがこれからの問題になると思います。
会 長	<p>乳幼児の場合は、親と子が一緒ですよ。子どもだけが利用しているのではなくて、親と子どもと一緒に利用しています。当然のことながら乳幼児は自分では来ることができないので、ここにもあるように非常に身近なところ、歩いて10分とか自転車で10分とか、狭い生活圏の中に児童館を求めているのでしょう。恐らく中高生は自転車で移動できるわけですから、別に生活圏に児童館がなければならないというわけではない。音楽やスポーツができる文化的要求が満たされる施設が、かなり離れたところにあっても構わない訳ですね。</p> <p>問題は小学生あたりですね。かなり発達段階も含めた年齢で考えていかないといけないと思います。今はとりあえず理念として児童館では18歳まで受け入れるわけですので、視察したとき宮前児童館で中学生くらいの子どもの狭い部屋の中で4~5人でドッチボールをやっていましたね。小学生は絶対入れないですね、危険ですから。そういう事態が起こるということですね。</p>
委 員	資料を拝見して、乳幼児親子向けアンケートの中で、子どもの一時預かりについて要望がありますね。ニーズがあってそれに応えていくというのはすごく大事なことです。今の児童館機能の中にさらにそれらを実施していくのは、職員的にも場所的にも難しいことだと思います。このアンケートを見なかったことにはできないので、今後検討が必要だと思います。
委 員	利用料を1万円にすれば、なんでもできますけどね。五百円、千円程度でやっているからおかしいですよ。
委 員	乳幼児保護者は午前中が利用の中心ですよ。
委 員	はい。
委 員	午前中はどこの館も、乳幼児の利用が多いですね。
委 員	荻窪北保育園で一時預かりを行っていますよね。その状況はどうでしょうか。
委 員	一時保育室として荻窪北保育園内で10名定員の一時保育を実施していますが、ほとんど利用が一杯の状況で、なかなか使い勝手は良くないようですね。子育てサポートセンターで行っている一時保育ほどではないにしても、なかなか使えないという状況のようです。
委 員	預ける理由は必要なのですか。
委 員	例えば、通院や冠婚葬祭で利用する方が多いようですね。
委 員	有料ですか。
委 員	1時間五百円です。
委 員	今は荻窪北保育室のお話をしましたが、子育てサポートセンターで行っている一時保育も1時間五百円で行っています。そこは定員2名ですが、今年度から3箇所開設して定員3名になるところもあります。一時預かりの需要が非常に多いという実情です。ここでの話と多少外れてしまいましたが、第一回にご説明した「子ども・子育て行動計画」の中で、新しく「ひととき保育」と名前を変えて、18年度までに新たに4箇所、荻窪北保育室も含めて5箇所設置し、21年度末までには10箇所程度整備する予定であります。
委 員	全て区立保育園に設置する予定ですか。
委 員	<p>区立保育園も含めて、例えば区の使用していない施設を活用するとか、あるいは民間の空き店舗などから提供の提案があれば、それらも利用して、開設していく予定です。併せて、親子の交流や育児相談機能を備えた「つどいの広場」を整備していく予定です。</p> <p>先ほどの話に戻りますが、児童館は41館ありますが、区立ですので基本的には共通メニューで運営を行っています。ですから、委員の皆さんがおっしゃられたよ</p>

	<p>うなご指摘もあります。最近の情勢を申し上げますと、学童保育の需要がどんどん増加しています。今の社会情勢を反映してということもあるのですが、昔と比べると学童に申し込む家庭が増えてきています。かなり待機児も増えてきている状況がありまして、基本的に区としてはなるべく待機児をなくしていきたいということがありました。それまでの学童クラブは定員制で、それを超えた場合については、優先度の高い方から入っていただいていた。それが、児童館内の学童クラブに限ってですが、定員をなくしてなるべく希望される方は入れましょうという登録制を17年度から実施しました。それまでの児童館の機能は損なわないように、児童館の会議室など転用できる場所は学童クラブの育成スペースに転用していきながら、可能な限り児童を受け入れているところです。</p> <p>恐らく、視察に行かれた児童館では、学童クラブの児童がすごく多いところだったと思いますが、学童の児童が多いというのは事実です。学童クラブの児童が多くなって、一般の児童の利用が少なくなっていることも多少は聞いています。そういったこともあって、今回、均一の機能を全ての児童館で持たせてやっていく必要があるのかどうか。例えば、地域の特性にあわせて、乳幼児を手厚くしたり、あるいは小学生の利用を手厚くしたりするなど、そういう運営の工夫についてここで議論していただければと思います。</p>
委員	<p>学童は減らないのであれば、乳幼児専用という施設をつくると、そこはどうなりますか。</p>
委員	<p>最初の説明でも申しあげましたが、学童クラブの占める割合は結構大きいので、児童館自体もその分は重くなっているのは事実です。今のままで運用を工夫していくという方法もありますが、例えば学童クラブを学校の空教室に移すことが可能であれば、その分余分なスペースが生まれるわけですから、そのスペースを活用して、中高生の居場所に特化したり、乳幼児の居場所にしていくこともできるのかなと思います。今後そういったことも議論していただければと思います。</p>
会長	<p>学童のニーズが非常に多くなっていて、どこの児童館も学童機能が膨らんでいるというのはその通りだと思います。それによって押し出されている一般児童の声は、集まっていないのではないのでしょうか。つまり乳幼児は親の声として出ている。学童は学童の保護者から出ている。一般児童は押し出されているけれども、飛び散ってしまって、被害を受けているけれどもどこにも声が出ていない。そういうことはないですか。</p>
委員	<p>15年・16年と二箇年、学童クラブの登録制を試行してきましたが、その検証の中で、児童館職員からだと思いますが、学童の子どもが増えてしまって、一般の児童が入りづらいということも、一つの問題提起として出されてはいます。</p>
会長	<p>学童クラブのところは、「ここから入ってはいけません」というところがありましたよね。専用スペースということですね。</p>
委員	<p>基本的には学童クラブ室には一般の児童は入れません。</p>
会長	<p>そうすると、本来児童館が対象とした子どもは、巷をさまよっていてね。中高生になると、結構要求が強くなってきますから、バンドをやれるようにしようとか声が出ていますけれど。いわゆる、一番児童館が児童館たる所以の対象としている児童は被害を受けていないですかね。</p>
委員	<p>学童クラブの子どもたちは外で友達と遊ぶ約束ができないので、児童館で遊びますよね。学童の児童と遊ぶために一般の児童が遊びに来て、おやつの時間になったら、育成室に入ってしまうから、結局遊ぶ友達がいなくなって、独りぼっちになってしまい、児童館の中をさまよっています。その子は、その学童の子と遊ぶ約束をしているものだから、遊ばなくて最終的には帰ってしまう。</p> <p>せっかく学童の子と遊ぶ約束して児童館に遊びに行ったのに、学童クラブのおやつ時間だから遊ばなくなって帰ってきてしまうという話をしている子どもは多いと思います。</p>
委員	<p>うちの子どももそうでした。「学童入りたいなあ」と言っていました。遊びの場で混乱してしまうのは問題ですね。</p>

委員	学童クラブのことを話すのであれば、教育委員会の方が来ていますので、学校施設として久我山小学校のような使い方というのは、他の学校でもできるのでしょうか。可能性としてはどうでしょうか。
学校適正配置担当課長	久我山小学校では、防災倉庫を外に出すなど内部で調整して3教室を使用していると思います。一昨年は高井戸東小学校の余裕教室を使用しています。学校教室は全部で1100ほどありますが、そのうち750から800ぐらいを学校教室として利用し、残りの300の150ぐらいが2クラスを3クラスにするなどしています。他にも高齢者のデイケアサービスセンターなどにも利用していきまして、空教室は思ったよりも少ない状況です。また、必ずしも、使い勝手の良い部分に余裕教室があるというわけでもありません。
会長	いずれ学童クラブ問題も議論していくことになりますので、教育委員会の方はまた来ていただけますね。
児童青少年センター所長	作業部会員ですので、基本的には参加します。
会長	では、そのときにまた来て頂くということをお願いします。 今日は少し議論が拡散するとは思いますが、学童の問題、一般児童の問題、あるいは中高生の問題などありますが、乳幼児の親子というところに残りの時間は議論を集中していきたいと思います。 先ほどの流れですと、今までは各児童館が午前中を乳幼児親子が利用する形でやってきているわけですね。そこで、さらに一時預かり・ひととき保育というニーズも広がってきているなかで、それらのニーズをどう受け止めていくのか。今のままで良いのか。あるいは、施設ごとに特別なニーズを受け止めるようにしていって良いのか、もう少し議論をしたいと思います。
委員	質問ですが、先ほどの「ひととき保育」の対象10箇所の中に、児童館は入っていないのでしょうか。
委員	今の時点では児童館は入っていません。
委員	入っている、入っていないというよりは、まだ検討していないということです。ひととき保育については来年4箇所設置しますが、行動計画では21年度までに10箇所開設することになっています。ただし、具体的にどこに設置するかについては、まだ検討していない状況です。この検討会の場でそういう方向性が出れば、私どもでも児童館の中で開設するということも考えていくということになります。こうした見積りの上での21年度には10箇所で開催できるだろうという見込みの数値です。
委員	どうして児童館は入っていないのですか。全く考えていないということですが。
委員	全く考えていないというわけではありませんが、実際まだ児童館で一時預かりをやるとかやらないということ自体、議論されていません。こうやって今まさに議論しているわけですから、そういう意味で今後の検討を待たなければいけないということです。
委員	今考えている5箇所というのは、どういうところを予定しているのですか。
委員	来年度までの5箇所というのは、1箇所は現在実施している荻窪北保育園、来年度開設する4箇所のうち、2箇所は区の空施設を利用します。残りの2箇所は公募で場所自体を募集しています。あわせて5箇所ということになります。 19年度から21年度までの5箇所をどういったところでやっていくかは、これから検討することです。
委員	区の空施設というのは具体的にどちらですか。
委員	既に場所は決まっています。一つは馬橋出張所の跡地でありまして、2階は馬橋会議室として使用していますが、1階部分は区の倉庫になっています。もう一つは高井戸駅前事務所の跡地予定地です。高井戸駅前事務所は12月に移転しますので、その跡地です。

	<p>ちなみに、公募しているのは例えば空家です。武蔵野市の「テンミリオンハウス」というのをご存知でしょうか。空家とか空店舗など、そういったところで、子どもの施設ですので周囲の環境にもよりますが、あまり繁華街に近く騒々しくないところや、近くに公園があるところなど様々な条件はありますが、建物としては100平米以上の面積があれば、原則として可能です。</p>
会 長	<p>一時預かりをするのであれば、それなりの人を配置して体制を整えなければいけないということですね。</p>
委 員	<p>一時預かりは、全て区が実施するものですか。</p>
委 員	<p>荻窪北保育園では今は区で実施していますが、来年度からは公設民営という形でやって行きます。馬橋の会議室などは事業者を公募し、具体的に事業者の選定作業に入っています。基本的には、事業者であるNPO法人なり社会福祉法人なり民間企業に運営をお願いするものです。</p>
委 員	<p>区が補助金を出して、運営主体者が自主的に行う補助事業を考えています。</p>
会 長	<p>今後の議論によっては、客観的に児童館はハードとして一時預かりをする施設として可能性があるということですね。ただ、そういう形でその機能を児童館に取り組むことが良いのかどうかというのは検討しなければいけません。</p>
委 員	<p>例えば、乳幼児専門館をつくるということになれば、その中にはそういう一時預かりの場とか子育て相談の場をつくるというのは考えられるとは思いますが、今の時点では、これからの議論を踏まえたうえで実施していくということです。</p>
委 員	<p>先ほど出ましたコンテンツというか、乳幼児に対する子育て相談とか、サービスの中身について教えていただきたいのですが、今現在実施しているゆうキッズ事業というのは共通メニューで実施しているということでしたが、0歳から18歳まで共通にコンテンツを考えているということで良いのでしょうか。お伺いしたかったのは、乳幼児に対してのコンテンツ、提供するサービスやプログラムというのが、既にかなり蓄積があるものなのか、あるいはまだまだ学童にクラブに比べれば試行的なものであって、これから変えていくのかどうか。</p> <p>それから中高生については、ゆう杉並を見せていただきましたが、ゆう杉並というのは一つのモデルになって、そこでの経験を共通メニューに生かせるようなシステムになっているのかと理解しました。それを考えると乳幼児の専門館ができたときに、そこが先駆的なものを作って共通メニューの中に組み込んでいけば、バランスが取れるかと思いました。</p> <p>乳幼児向けのプログラムの歴史的な流れと、現在の状況を教えてください。</p>
児童青少年センター所長	<p>乳幼児向けのゆうキッズのプログラムにつきましては、平成13年度の半ばから実施しています。プログラムの内容ですが、各児童館で利用者のニーズを踏まえながら工夫しているいろいろやっています。リトミックや赤ちゃん体操、折り紙などを母親クラブの方々などにもご協力いただきながら地域の実情にあったかたちで実施しています。全く一律かということそうではないですが、同じようなことを実施しているところはたくさんあります。</p>
委 員	<p>日頃から意識して、乳幼児向けのプログラムを充実させようという方針はありますか。</p>
児童青少年センター所長	<p>あります。</p>
委 員	<p>ゆうキッズ事業が始まるまでは、お昼の12時から1時まで昼休みをとって休館でした。ですから12時になったらお帰りいただいて、1時になったら来ていただくようでした。ゆうキッズ事業を開始したときから、昼時間に昼食を児童館でとれるようにサービスの拡大をしました。その前も、ゆうキッズという形ではないですけど、乳幼児向けの事業はそれぞれで実施していました。私が勤めはじめた頃は、幼稚園に行く前の幼児を対象に母子分離でやっていましたが、幼稚園に行く3歳児が増えたので、2歳、1歳、0歳とだんだん下がってきた状況です。</p>
委 員	<p>以前、青少年育成委員会で乳幼児向けの講演をやってもらったのですが、幼稚園</p>

	<p>や小学校のお子さんというのは見ていて落ち着きがないというのは、乳幼児の段階からいろいろ問題があるようなので、そういう乳幼児の母親の教育講座みたいなものを実施したらどうでしょうか。同じ児童館だけで実施すると、なかなか参加が難しいでしょうけど、隣接した所で数日実施すると、この日は参加できないけど、この日は参加できるみたいな参加の仕方もあるのではないのでしょうか。</p> <p>乳幼児の母親の教育、子どものしかり方・褒め方そういうのが一番重要な問題になるのではないかと思います。今ある児童館で1週間ぐらい連続して指導しているようなものがありますよね。それはすごく良いと思っています。</p> <p>今の若いお母さんたちは、そういったところでいろいろ勉強しているのが現状だと思いますから、その辺をもう少し力を入れてやったら良いと思います。幼稚園に行く前の母親の教育にももう少し力を入れてもらえればと思います。</p>
委 員	<p>基本的なことですが母親という言葉だけでなく、父親というのも含めて、一応検討会の場ですので保護者としたほうが良いと思います。</p> <p>どうしても養育力が低下せざるを得ない中で、児童館は資源ですから。</p>
委 員	<p>1歳以下は保健所でやってもらいたいですね。そうしないとその年代を全て児童館でやるというのでは、手が回らなくなってしまいます。保健所には保健センターがありますから、それらの施設をもっと利用してもらえば良いのでしょうか。そういう分け方をして児童館を有効に使った方が良いと思います。</p>
会 長	<p>児童館の主旨は先ほど申し上げたとおり、さまよっているような声なき子ども達だったのに、いつのまにか学童であれ、乳幼児であれ、中高生であれということになってきている。そうすると児童館の今日的な役割はなにかという基本問題を議論しないとクリアできない気がします。</p> <p>そのときに今出ている一番基本的なところ、最初のスタートのところである、母親であれ、父親であれ親として子育てをしていく最初のところで非常に不安を抱えていたり悩んでいたりするわけで、それは保健師さん任せにはできないような課題が渦巻いていることだと思います。それが子どもの一時預かりを含めた、親子で参加できる催しやプログラムの充実というところに結びついているのではないのでしょうか。一番多いですからね。そこをセットでやっていかなければいけないという課題にどう答えるかということだと思います。</p> <p>これまで児童館が午前中やってきたこと、あるいはゆうキッズ、ゆうキッズプラスということは、発展させられる。つまり、固有の課題を明確にしていって、そうした専用の児童館をつくることによって、より発展すると考えるのか。それとも、今までのような身近なところで通っていけるようなかたちで工夫していけば乗り切れるのか。その辺のところ大きな分かれ道だと思います。</p>
委 員	<p>小学生が今安全に過ごせる場所というのがどんどん少なくなってきていて、居場所というのが学校の校庭開放だったりして、外を歩いてもほとんど遊んでいないという状況があります。乳幼児の親子も居場所を探しているというのがあります。私がいる高円寺中央児童館は、かなり学童が少なくて30名以下でバランスがとれている児童館ではありますが、乳幼児親子はお昼も含めて長く居ることが増えて3時くらいまで過ごしています。そうすると小学生が遊びに来て、逆に大人に小学生が遠慮してしまう状況があります。小学生の居場所ということから考えて、乳幼児の専門館があったほうが良いのではないかとこの話が職員同士の中ではあります。</p> <p>荻窪北児童館も皆さんご覧になったと思いますが、あんなに満杯の施設で、お母さんたちがロビーで場所をとって、小学生が隅で遊んでいる状況がありますので、職員とするとあれもこれもニーズに応えようとして、今、手一杯で限界に来ています。どうしてやっていこうかというのがどこの職員も考えているところで、皆さんのアイデアが頂けたらと思います。</p>
会 長	<p>先ほどの意見の中で、杉並区は40数箇所の児童館が他区とは違ってあって、それこそ非常に身近な、それこそ歩いて10分、あるいは自転車で乗れば10分以内という身近にあるということのメリットは大切にしなければいけないとか。ある</p>

	<p>いは、乳幼児と小学生の関わりだとか、中高生とのつながりが切れちゃっていますから、そこを模索しなければならないじゃないかとか。今までやってきたことの発展として追求したいこともでてきます。そこに専門の方が相談に乗ってもらえるように入るともっと良いとか。その方向は今までのものを生かしつつどうにかならないかという意見だと思います。</p>
委員	<p>一つ大きな違いがあります。昔、児童館では母子分離をして、お母さんたちが勉強会を開いていました。母親クラブの資料はありますけれど、そのときに立ち上がって地域活動に入っていったというのが一番の母親クラブの役割でした。それがいつのまにかお母さんたちのニーズがなくなって、勉強会というのがなくなってしまって、この預かり型とか一時保育型のシステムになってしまいました。そこら辺で、私たちがいつも悩みを聞いていると、まず、人に頼って聞いて「どうしよう。どうしよう」という感じは受けます。「一緒にやりましょうよ」というと、「それは無理ですよ」という方が圧倒的に多いです。</p> <p>もちろん預かる施設をつくるということや一時保育というのは大事なことですけれど、お母さんの教育という面では、もう少し児童館で見直していただきたいと思います。</p>
委員	<p>なかなかそういう講演会とか実施しても人が集まらなかったりします。託児とセットだったりすると、託児が魅力的で参加していただくこともありますが、かなりニーズが変わってきていますね。</p>
会長	<p>それこそ児童館の午前中、親子で来て一緒に参加できるプログラムが欲しいといっているわけですから、ただ来て時間を過ごすだけにとどまらず、遊んでいく中で、親が発見したり学んだりというところを強めなければいけません。緊急の預かって欲しい理由もあるでしょうけれど、預かってもらってリフレッシュしたいから預けましょうというのも必要だと思いますが、だけど、それだけでは預ける施設をあちらこちらにつくらなければいけないわけです。なにかもう少し親と子が一緒に来て遊んでいる中から、子育ての見通しが見つかったりするところをどう強めるかというのは残っているような気がします。</p>
委員	<p>誤解があるといけないので説明させていただきますが、一時預かりという名前から、リフレッシュという機能もありますが、つどいの広場というものを一緒につくってくださいと説明しています。ただ預けるだけでなく、そこをきっかけにつどいの広場で親子同士ふれあっていたらいい、つながりを深めていくというのが一つの目的ですし、一時預かりというのは、在宅のお子さんの外出を促すという目的もあります。子どもを預けるということはその様子が他の人の目にふれることになりまますので、間接的な虐待予防という効果も期待できるのではないかと思います。</p> <p>リフレッシュしたいというのが別に悪いわけではありませんし、そういう効果もあります。単に子どもを預けるというよりは、先ほど申し上げた効果があるということの頭の片隅に入れていただければと思います。</p>
会長	<p>それは今まで児童館でやってきたこととは違うのですか。</p>
委員	<p>児童館がやってきたことと違うか同じかということであれば、児童館では午前中だけというように時間が限られてしまう場合がありますので、一時預かりは週6日ぐらいで、1日8時間ということで開設してくださいとお願いしていますから、いつでもいけるというのが児童館と決定的な違いだと思います。ゆうキッズ事業というのは、時間が限られていますから、そういうかたちで、いつでもみんなで集える広場というのが違いだと思います。ですから、それを児童館でやっていただくのも選択肢の一つであると思います。</p>
委員	<p>児童館ではやってもらいたくないですね。保育所とか幼稚園とかありますから、そこをもう少し活用してもらって、児童館は児童館らしいものややっていけないといけないと思います。いろいろニーズがあるからといって子どもが一人歩けばそこに職員がとられるわけですからね。今までいた場所だって手狭になってきます。一人二人預けたために、職員が一人二人使われてしまう。全体的な児童館運営がもってきつくなってしまうと思います。そういう意味で、児童館では実施してもらい</p>

	たかないですね。
委 員	<p>ひととき保育・一時保育を実施するというのは、ニーズ調査で65%の方が、子どもを預けてリフレッシュしたいということがあり、21年度までに10箇所設置する計画を立てました。実際に65%の方が預けるかどうかはわかりませんが、実際に預けるとなると保護者にとっては不安もあると思います。乳幼児保護者向けアンケートにあるように、「普段通っている児童館なら安心して預けることができる」というのをみると、意見としてはそうなのかなと思います。</p> <p>ニーズの変化は止むを得ないと思っています。昔は、児童館はいろいろな事業を実施しているところでしたが、保護者のニーズの高まりというのは、次にそういう事業につなげていくきっかけとして、例えば一時預かりのようなものは、一つの選択肢だと思います。</p> <p>スペースの問題については、先ほど教育委員会の方からなかなか場所がないという説明がありましたが、江戸川区や世田谷区ではそういう試みを行っているわけですから、一つの選択肢として小学校の中に学童クラブを入れるというのも考えていかなければならないと思います。担い手の問題については、NPOなど地域の力を活用しをお願いすることを考えています。</p> <p>乳幼児対象の事業は、ひととき保育だけを実施していくというのではなく、相談機能というの強化しなければいけないと考えています。やはりNPOの活用は考えていきたいと思っています。</p>
会 長	そうあまり結論は急がず、最初から結論ありきということになってはまずいですから。
委 員	結論という意味で発言したわけではありません。
会 長	そうあわてる必要はありません。今日だけでは結論は出ませんので。学童保育の問題も議論しなければならぬし、その他いろいろ議論しなくてはなりません。いろいろ議論した中から、先が見えてくると思います。今日ここで、こちらの方向にということに結論付ける必要はないと思います。まだ、これまでの児童館の経験というものでできていませんし、今の趣旨はわかりますけれども。
委 員	私は児童館を所管する立場にありませんので、結論を言える立場でございません。一時保育を所管する立場から申し上げれば、そういう場所を増やしたいというのがあります。児童館であれば安心して預けられると書いてありましたので、それも一つの選択肢と申し上げたまでです。
会 長	もちろん趣旨はわかります。資料の中でもそういったものがありましたからね。皆さん了解していると思います。その中で、一番良い選択肢を選んでいきたいと思っています。今日はもう時間がないので、議論が不十分なところもありますが、乳幼児親子の問題から入りましたけど、学童クラブの問題や見えていない一般児童の問題など考えながら、次の切り口から議論しながら、また乳幼児親子の問題も考えるということ、あと最低3回ぐらい開催して、議論していかなければならないですね。
児童青少年センター所長	3回が当初の予定になっています。
委 員	ひととき保育の問題を整理したいのですが、預りを主に実施することですよね。定員10人なら10人で、時間単位に有料で預かりますよね。それに付随して広場みたいなもの、お母さんたちに声をかけて誘って、母親の集まりみたいなものをいずれは実施していくお考えですか。
委 員	ひととき保育を実施する施設は、ある程度スペースがあるところでは広場も一緒をお願いしていきます。
委 員	預けながら、つどいに参加するということですね。
委 員	それでも良いですし、子どもを預けなくても子どもを連れて広場に行って、他の親子と一緒に交流していくということもあるのではないかなと思います。線を引いてやるものではないですから、機能としてそういうのを整備していこうということですね。

委員	役所の方は建物などのハードな面を考えていると思いますが、私たち民間は親を育てるといふか、子育ての中で親は子どもの年齢で育っていくというのがあり、いくら歳をとっても1歳を持つ母親は1歳児の年齢の輪に入っていくわけですから、そこら辺のことを踏まえたうえでの検討会であるべきだと思います。
委員	一つだけ先ほどのご意見を聞いたうえでの話ですが、ニーズありきで考えるという考え方も大切ですが、そのニーズが何から出てきたかというのが問題だと思います。非常に多くの要望があるからやりましょうというのは少し違うと思います。時間が長くなってしまふのでそういう思いをもっていますということで発言しました。
委員	女性の労働傾向は多くなっているのですか。杉並区ではどうでしょうか。
委員	そういった統計はとっていませんが、一般的に増えているのではないのでしょうか。保育園の入園希望も多くなっていますから。
委員	経済状況など照らし合わせないとわからない問題だとは思いますが、一つは女性の社会進出が多くなってきたということで、子育て問題などそういったことがますます増えていくのではないかと思います。
会長	<p>それでは時間が予定の9時になってしまいましたので、今日は乳幼児親子の居場所づくりに光を当てながら議論が始まったところですが、プロセスを聞いてお感じのように、なかなか一朝一夕にはいきません。乳幼児からだけでは詰めきれません。今日少しだけ学童保育のことも出ましたし、それ以外の児童の問題もあります。そちらもその切り口から議論を進めながら、もう一度乳幼児の問題のところに戻ってくるというかたちで、しばらくは結論を急がずに議論したいと思います。</p> <p>いただいた資料ですが、必ずしも消化できてはおりません。本来、このアンケートなども使いこなさないといけないと思います。この声をどう読むのかということは宿題だと思いますので、それらも時間をとって見て頂いて、次の議論につなげていきたいと思います。</p> <p>出されている大きな課題の趣旨、つまり今ある児童館をこれまでのような全ての0歳から18歳まで対象としたやり方で果たしてやっていけるのかどうか。親の子育ての状況も聞きましたし、そういう点では抜本的に検討しなければいけないと思います。この課題は底辺にあるわけですから。学童保育もそうですし、児童館の数も限られていますし、ニーズが強いわけですから、学校の空教室などもどのように活用していくのかということもありますので、そういう課題をベースにしながら今回の議論につなげていきたいと思います。</p> <p>今日は特別なまとめはしませんが、次につなげるかたちで議論を発展できればと思います。</p>
10	その他
会長	では、次の日程の確認をお願いします。
児童青少年センター所長	お配りした次第に、第4・5・6回の日程を記載させていただいております。ただ、第6回については5月22日と記載しておりますが、都合が悪いという委員さんがいらっしゃいましたので、25日木曜日若しくは29日月曜日ということで、改めて調整をお願いいたします。
会長	次回第4回は、4月17日。時間は19時から21時でよろしいですね。第5回は5月8日でよろしいですね。
	《異議なし》
会長	第6回ですが、25日都合の悪い方いらっしゃいますか。
	《委員から挙手》
会長	29日はいかがですか。
	《異議なし》

会 長	では、第6回は5月29日木曜日ということでお願いいたします。 第4・5・6回くらいまでは、こうした議論を集中してやっていかなければなりませんね。その他、事務的なことは何かありますか。
児童青少年センター所長	冒頭、会長からお話がありました資料の保管の件でございますが、全てお持ち帰りいただく方はお持ち帰りいただいて構いませんが、たいへん量も多いので、この部分の資料については置いて帰りたいという方がいらっしゃいましたら、机の上に置いていただければ、次回まで事務局で保管いたします。 もう一つですが、次回の検討会に向けて、追加でこういう資料を出して欲しいというのがあれば、今日この場でというのはなかなか難しいと思いますので、事務局までご連絡いただければ準備いたします。
委 員	頂きたいと思った資料は、その他資料で頂いた他区の放課後居場所事業について、どういう流れでこういう対策をとったのか、またその後どういった声が出てきているかなどがわかるものを頂きたいですね。掻い摘んだ内容で良いのですが。
児童青少年センター所長	他区の状況につきましては、事前にワーキングチームが各区に視察をした際、調査シートを作成していますので、そちらをご用意いたします。
会 長	それは是非出していただくと考えやすいですね。その他ございますか。
委 員	保健所、保健センターとのやりとりですね。どちらがやるべきなのか。保健センターがどういったコンテンツを持っているのかということがわかる資料を頂きたいです。
委 員	関連して、保育園や幼稚園が一般家庭向けに行っている事業がわかる資料を頂きたいです。
会 長	次回の課題については、資料を送るときに論点・切り口はここですというのを含めてお伝えできれば、準備もしやすいと思います。
11 閉会	
会 長	《閉会挨拶》